

取扱説明書

オレオール、スピットファイア、ソルディ・エルマーノ
ロザルクス、ドナー

株式会社 和工

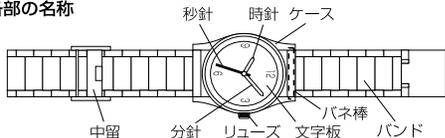
お客様へのご注意

- お買い上げいただいた腕時計は、本体、金属バンド又は皮革バンドが直接肌に密着しますので、場合によっては金属アレルギーや皮膚のかぶれを起こすことがあります。その時はただちに使用をおやめ下さい。
- 時計をかけた腕で身体をこすったりすると身体に傷をつける場合がありますのでこのような行為はおやめ下さい。
- サウナ風呂など高温の場所で使用すると火傷をすることがありますので使用をひかえて下さい。
- 時計をしたまま激しい運動をしますと、それが原因で時計が破損して怪我をする場合がありますので運動時の使用はおやめ下さい。
- 万一、時計を落下して破損した場合は速やかに、破損片をかたづけて下さい。お客様が部品を飲み込んだり、思わぬ怪我をする場合があります。
- 汗、及びほこり等に依り衣服の袖口が汚れる事があります。(時計のお手入れ方法を参照下さい。)
- 時計は、潜水用ではありませんので潜水時の使用はおやめ下さい。
- 時計を改造して使用した場合の怪我等については、保証をしかねますので予めご了承をお願いします。
- 誤った使用によって怪我をした場合の保証はしかねますので予めご了承願います。
- 時計の時間遅れの原因となりますので、健康器具(磁気)等との併用はお避け下さい。

保証規定

- *保証期間に正常なご使用状態で、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。
- *つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ)誤ったご使用や、不注意による故障または損傷。
 - (ロ)不適当な修理や、改造による故障または損傷。
 - (ハ)火災、水害または地震など、天災地変による故障または損傷。
- (二)ご使用中に生じた外観上の変化。(ケース、ガラス、バンドの小キズなど)
- (ホ)保証書の字句を書き換えられた場合。
- (ハ)保証書の提示がない場合。
- *革バンド・合成樹脂バンド及び電池などの消耗品は保証の対象外になります。
- *修理のとき、ケース、文字盤、針、ガラス、バンドなどは、一部代替部品を使用させていただく場合もございますのでご了承ください。
- *本保証書は明示された保証期間及び保証条件に従い対象製品に対して無償修理をお約束するものではありません。
- *当社宛郵送又は輸送の際の料金は、お客様にてご負担願います。
- (注)誤った使用とは非防水時計を水中に入れた場合、高温または低温のところに時計を置く場合などの使用状態を言います。

①時計各部の名称



②アナログ(針式)クォーツ時計の様式

- 機能：二針、三針、三針・日付、三針・日・曜日付
- 時間精度：±20秒/月(常温における携帯精度)
- 運針方式：1秒ステップ運針(二針を除く)
- 水晶振動数：32,768Hz(Hzは一秒間の振動数)
- 表示方式：ダイヤルと針によるアナログ式
- 使用バッテリー：酸化銀電池、リチウム電池
- 電池寿命：新しい電池組込後約2年(酸化銀電池)、約10年(リチウム電池)
 - *但し、ご使用中の時計にかかる負荷が環境及び使用状況等によって個々に異なりますので電池交換後、必ずしも2年~10年を保証するものではありません。(裏面の使用上の注意事項1~4参照)

③アナログクォーツに組み込まれているバッテリー(電池)について

- お買い上げ頂いた、アナログクォーツに組み込まれているバッテリーは、時計の機能や性能をチェックするためのモニター用です。
- つまり、このバッテリーは、当社より出荷される時、組み込まれておりますので、お買い上げの期間までにある程度、消耗しています。
- このため、このバッテリーは、所定の期間の電池寿命がないことがあります。
- もし、新しいバッテリーに交換するときは、保証期間内でありましても、有料になりますので、よろしくお願いたします。

④アナログクォーツのご使用方法について

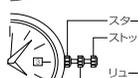
●二針・三針、時刻の合わせかた

- リューズを1段引くとストップし、時刻合わせをして下さい。
- リューズを押し込むとスタートします。



●三針・日付の合わせかた

- リューズを1段引いた状態でを行います。(この状態では、時計は動いています。)次に、リューズを左、右いずれかに回転させて日付を変えます。
*ムーブメントによって、左回転で日付を変えるものと、右回転で日付を変えるものがあります。



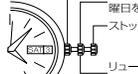
●時刻の合わせかた(針の合わせかた)

- 時刻合わせは、リューズを2段引いた状態で、針を左、右いずれかに回転して合わせます。(2段引いた状態では、時計はストップします。)



●三針・日付・曜日の合わせかた

- リューズを1段引いた状態でを行います。リューズを右回転しますと日付が変わり、左回転させますと、曜日が変わります。



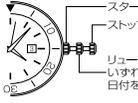
●時刻の合わせかた(針の合わせかた)

- 時刻合わせは、リューズを2段引いた状態で、針を左、右いずれかに回転して合わせます。(2段引いた状態では、時計はストップします。)



●三針・ダイバー(ネジロック式)日付の合わせかた

- リューズはネジ式になっており左回転させゆるめ、1段引いた状態で(この状態では、時計は動いています。)次にリューズを左右いずれかに回転させて日付を変えます。操作後リューズを締め忘れと防水不良の原因となります。



●時刻の合わせかた(針の合わせかた)

- 時刻合わせは、リューズを2段引いた状態で、針を左、右いずれかに回転して合わせます。(2段引いた状態では、時計はストップします。)
- 針合わせが終わりましたら、軽くリューズを押しながら右回転させて戻します。

レトログラードクォーツのご使用方法について

■カレンダーの合わせかた

- リューズを(2)の位置にします。
- リューズを左方向に回して日付を合わせます。



●曜日の合わせかた

- 通常は針を24時間回しますと曜日が変わります。
※早送り修正する場合は
時計を24時間回して曜日が変わりましたら(時計が3時の位置まで回りますと変わります。)その時点で今度は針を反対方向に回して時計を11時まで戻しましたら、時計を3時まで回しますと曜日が早送りできます。

●時刻の合わせかた

- 時刻を合わせる前に日付、曜日を前日に合わせてから時刻を合わせて下さい。
- リューズを(3)に位置にします。
 - リューズを回して時、分、秒、を合わせたい時刻に合わせます。
 - 時刻(TEL/117)に合わせてリューズを(0)に位置に戻すとスタートします。

■カレンダーの合わせ方



- リューズを(2)の位置にします。
- リューズを右方向に回して日付を合わせます。

■時刻の合わせ方



- リューズを(3)の位置にします。
- リューズを回して時、分、秒、を合わせたい時刻に合わせます。
- 時刻(TEL/117)に合わせてリューズを(0)の位置に戻すとスタートします。

■デュアルタイムの合わせ方



- リューズを(2)の位置にします。
- リューズを左方向に回して現地時間(午前、午後)に合わせて下さい。

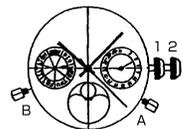
■ムーンフェイズ(月齢表示)の合わせ方

(1)リューズ位置(右図参照)

- フリー状態(空転)
- 時計合わせ(ムーンフェイズ)

(2)針合わせ

- 秒針が12時上にある時リューズを引いてリューズ位置を(2)の状態にして(時計は静止します)針合わせをして下さい。そしてリューズを押し込んで(1)の状態に戻しますと時計は作動致します。



ムーンフェイズの合わせ方(月の形)

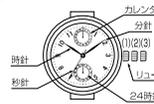
- リューズ位置(2)にして時間合せと同じ様にリューズ位置(2)にして24時間回転して、月の形が1日分回転します。
(注)満月の日に月の影が中心に位置する様合わせて下さい。
ボタンA:日付の早送りです。注、午後8時から午前3時の間には早送りをしないで下さい。
時計の故障の原因となります。
ボタンB:曜日早送りです。注、午後11時から午前4時30分の間は早送りをしないで下さい。
時計の故障の原因となりますのでご注意ください。

下図は、2005年~2011年の満月の日付です。およそ29日1周します。 下図参照

○満月の日(2005~2011)

2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
月・日・月	月・日・月	月・日・月	月・日・月	月・日・月	月・日・月	月・日・月
1 25:7 21	1 14:7 11	1 2:7 30	1 21:7 18	1 11:7 7	1 29:7 26	1 18:7 16
2 24:8 20	2 13:8 8	2 2:8 28	2 21:8 17	2 10:8 6	2 28:8 24	2 17:8 15
3 26:9 18	3 15:9 8	3 4:9 27	3 22:9 15	3 11:9 4	3 30:9 23	3 19:9 13
4 24:10 16	4 14:10 7	4 3:10 26	4 20:10 15	4 10:10 4	4 28:10 22	4 18:10 10
5 24:11 16	5 13:11 5	5 2:11 24	5 20:11 13	5 9:11 2	5 28:11 21	5 18:11 11
6 22:12 16	6 12:12 5	6 1:12 24	6 19:12 13	6 8:12 1	6 26:12 20	6 17:12 10
			6 30:			

■カレンダーの合わせ方



- リューズを(2)の位置にします。
- リューズを左方向に回して日付を合わせます。

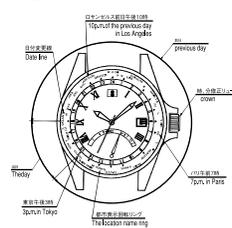
■時刻の合わせ方



- リューズを(3)の位置にします。
- リューズを回して時、分、秒、を合わせたい時刻に合わせます。
- 時刻(TEL/117)に合わせてリューズを(0)の位置に戻すとスタートします。

世界各地の日時の見方

都市表示回転リングに表示されている地域(代表都市)と、時刻(24時間目盛)をあわせると、世界各地の日時を知ることができます。



HOW TO USE THE LOCATION NAME RING

If you set the region (representative city) shown on the location name ring and time (24 hour scale), you will know the time at various places around the world.

- (例)日本国内で時計を使い、現在時刻が午後3時の時、都市表示回転リングのTOKYO(東京)を、24時間目盛の15時に合わせます。このときPARIS(パリ)は同日の午前7時、LOS ANGELES(ロスアンゼルス)は前日の午後10時となります。
- Example:When using the watch within Japan, and the present time is 3:00p.m., set Tokyo on the location name ring to 15:00 p.m. on the 24 hour scale. In this case, Paris is 7:00 a.m. the same day, and Los Angeles is 10:00 P.m. of the previous day.

標準時早見表

時差	地名
14	-10 AZORES
15	-9 LONDON
16	-8 PARIS,ROME
17	-7 CAIRO,BERUT
18	-6 MOSCOW,BAOBDAD
19	-5 DUBAIBAKU
20	-4 KARACHI
21	-3 DACCA
22	-2 BANGKOK,DJAKRTA
23	-1 HONG KONG
0(24)	0 TOKYO,SEOUL
1	+1 SYDNEY,LIJAM
2	+2 NOUMEA
3	+3 AUCKLAND
4	+4 MIQWAY,SAMOA
5	+5 HAWAII,TAHITI
6	+6 ANCHORAGE
7	+7 LOS ANGELES
8	+8 DENVER,EDMONTON
9	+9 MEXICO CITY,CHICAGO
10	+14 NEW YORK,PANAMA
11	+15 SANTIAGO
12	+12 RIO DE JANEIRO
13	+11 MADEIRA

*新しい日は、DATE LINE(日付変更線)の位置から始まり、そこから0(24)時までの範囲の地域を当日とすれば、それ以外の地域は前日となります。

*The new day begins from the position of the date line. From there, all location before 24:00 are on the same day, and other areas would be the previous day.

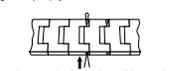
⑤バンドサイズ調整方法について

1.スライドタイプ



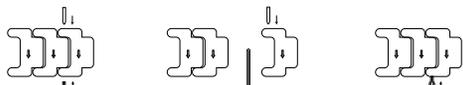
左図のように中板の穴の中にドライバーなどを差し込み、中板を開きますと、サイズ調整が容易にできます。なおスライダーの位置を決める時は、バンド裏側のミゾは必ずスライダーの凸部を確実に位置に合わせて下さい。

2.ピンタイプA



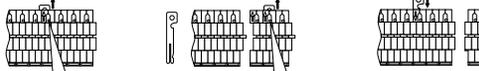
- 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出しピンを抜いて下さい。
- 必要な分だけバンドのコマを抜き取り、長さを調整します。
- バンドをついで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

3.ピンタイプB



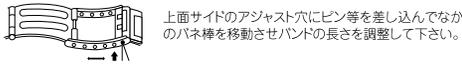
- (1)裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- (2)必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- (3)バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

4.板バネタイプ



- (1)バンド本体裏のアジャスト穴にピン軸又は千枚通しのようなもので、矢印の方向にアジャスト板バネを押し出して下さい。
- (2)同様にして、もう一方のアジャスト板バネを押し出し、必要のないコマをはずして下さい。
- (3)バンドをつないで、アジャスト板バネを元のようにパンチと音がする迄、完全に押し込んで下さい。

5.三つ折れタイプ



上面サイドのアジャスト穴にピン等を差し込んでながらのバネ棒を移動させバンドの長さを調整して下さい。

6.Xタイプ



- (1) コマのはずし方
折曲げてある切り込みのすき間より折る可能です。
- (2) コマのはずし方
裏コマを表コマの大きい穴まで移動する事によって簡単に取れます。

7.ネジタイプ



- (1) 小さなドライバーでネジをゆるめ、腕のサイズに合わせて必要なコマを取り外して下さい。
- (2) サイズ合わせをしたらコマとコマをネジでしっかりと止め、反対側に接着剤を一滴付けて下さい。

8.三つ折れバックルタイプ



バックル本体とピン板が開いたら革バンドをその中に入れてお好みの長さに合わせてバンドの穴にピンを差し込みピン板を元の位置にもどしてしっかりと固定して下さい。

9.ワンタッチタイプ

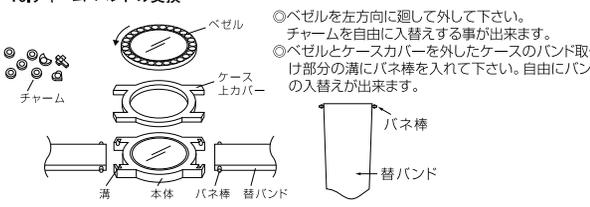


【はずし方】
図-1のバネ棒スライドピンを図-2の様に矢印方向に移動してバンドをはずして下さい。

【取り付け方】

図-3の様にバネ棒の片側をバンド取り付け穴に挿入しバネ棒スライドピンを矢印方向に移動し、もう一方の取り付け穴に差込みます。
※注意 取り付け後、時計本体にバンドが完全に取付いたかどうかを確認の上で使用ください。

10.チャーム・バンドの交換



※バンドの調整方法に不明な点があれば、販売店又はサービスセンターにご相談下さい。

⑥防水性について

アナログウォッチの防水表示は強化防水(5気圧以上)と日常生活防水(1気圧~3気圧)の2種類があります。
①強化防水は裏蓋にWATER RESISTANTと文字板が裏蓋に気圧表示をしております。(例:5気圧・50M、10気圧・100M、20気圧・200M)
②日常生活防水は下図を参照願います。
※時計の内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合は、お買い上げ店、又はサービスセンターにご相談下さい。

用途は下図参照の事

使用条件	強化防水20~30気圧	強化防水10気圧	強化防水5気圧	日常生活用防水	非防水
●一般的な水(洗車・雨等)	○	○	○	○	×
●水泳、ヨット等の水上スポーツ、漁業・農業等の水仕事、水道の蛇口等強い水流	○	○	○	○	×
●酸素ボンベを使用しないスキューバダイビング	○	○	○	○	×
●水中でのリユース操作並びに水漏れの付いたままでのリユース操作	○	○	○	○	×

⑦使用上の注意事項

1. 温度について
直射日光の当たる場所や高温または低温の環境下に長時間放置しないようご注意ください。故障の原因(遅れ・進み)や電池寿命の短縮につながるおそれがあります。
※特に-5℃以下または+50℃以上の環境下で長時間放置すると、動作不良の原因となります。
2. ショックについて
軽度のスポーツによる影響はほとんどありませんが、激しい動きを伴うスポーツの場合は破損やケガの原因となるおそれがあるため、ご使用をお控えください。
※床や道路などへの落下を含む激しい衝撃を与えることはお控えください。

3. 磁気について

磁石や磁石付きの製品、磁力を発生する製品などには近づけないでください。
※磁気の影響で時刻がずれる場合は磁気源から遠ざけて時刻を修正してください。
必要に応じて磁気抜きを行ってください。

4. 振動について

オートバイ・削岩機・チェーンソーなどの強い振動が加えられた場合一時的に遅れる原因となります。

5. 化学薬品・ガス等について

ガス・水銀・化学薬品など(シンナー、ガソリン各種溶剤又それらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品等)に触れるとケース、バンド、文字盤の変色が生じます。

6. 海水に入ったときのお手入れ方法

ケースについた海水を真水でよく洗い落としてサビが出ない様にしてください。又、洗った後は柔らかい布等でよく水分を拭き取ってください。怠りますと、ケース・バンドにサビが発生し腐食の原因となります。

⑧時計のお手入れ方法

- ケース・バンド
ケース・バンドは肌膚類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服の袖口を汚したり、皮膚の弱い方は、かぶれたりします。汚れや水分はやわらかい吸水性のよい布で拭きとり、常に清潔にしてご使用ください。また汗をかきやすい季節には、バンドを少しゆるめにつけ通気性をよくして下さい。
- 金属バンド
時々やわらかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどをして下さい。(汚れたままにしておきますと、サビたり腐食してしまいます。)
※非防水時計は時計本体に水がかからないようご注意ください。
- 皮革バンド
時々やわらかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどをして下さい。(汚れたままにしておきますと、サビたり腐食してしまいます。)
※非防水時計は時計本体に水がかからないようご注意ください。
- 点検のおすすめ
電池交換時または2~3年に1度の点検をおすすめします。保油状態・漏液の有無・汗や水分の浸入の有無などを、お買い上げ店または、販売店で点検してもらって下さい。点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。
※そのときにバックルやバネ棒の交換を御依頼下さい。
※部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

⑨太陽電池時計について

- 6ヶ月(フル充電)タイプ
1. クイックスタート機能
充電が全く空でない限り時計は停止していません。光を当てると、数秒で時計の針が動きでます。(光の明るさによって、針が動きだすまでの時間は異なります。)ただしこのとき光をさえぎると充電が充分できないため時計が停止してしまいますのでご注意ください。
- 2. 時計合わせ告知機能
クイックスタート機能が働くとき時計は動きませんが、時刻が狂っているため、秒針が変則2秒進針して時刻が狂っていることを知らせます。このような場合は十分に充電して時刻を合わせ直して下さい。時刻合わせ操作をしないと変則2秒進針が続きます。
- 3. 受電警告機能
充電不足になると秒針が2秒進針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが2秒進針を始めてから約3日間(72時間)過ぎると時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒進針に戻して下さい。
- 4. 過充電防止機能
二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電できます。

6ヶ月(フル充電)タイプ

照度(Lx)	環境	充電時間		
		止まってから1秒進針までの充電時間	1日の充電時間	フル充電時間
500	室内照明	約30時間	約1時間	約250時間
1,000	蛍光灯の下 60~70cm	約15時間	約35分	約125時間
3,000	蛍光灯の下 20cm	約5時間	約10分	約40時間
10,000	曇天	約1時間30分	約3分	約12時間
100,000	昼の日の直射日光下	約25分	約1分	約3時間30分

5ヶ月(フル充電)タイプ

照度(Lx)	環境	充電時間	
		1日の充電時間	フル充電時間
500	室内照明	約1.4時間	約242時間
10,000	曇天	約6分	約15.7時間
100,000	昼の日の直射日光下	約3分	約8.3時間

※その他取扱方法に付いては 上記6ヶ月(フル充電)タイプと同じ操作方法となります。取扱説明書確認の上で使用下さいませお願い致します。

■ソーラー時計充電時間の見方

- 時計のモデルによっては充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用下さい。
- ※1日分の充電時間:時計が1秒進針で1日動かすのに必要な充電時間。
- ※フル充電時間:時計が止まっている状態から最大に充電されるまでの時間。
- 【ソーラー時計取り扱いの注意】
1. 時計は常に充電を心掛けてお使い下さい。
●日常長袖などを着用していると時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
●時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心掛けると、時計は常に正しく動き続けます。
- 2. 指定電池以外は使わないで下さい。
●この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないで下さい。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類に電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用下さい。

3. ソーラー時計充電上の注意

- 充電するときは時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下(約60℃以上)での充電は避けて下さい。
例) 白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
タッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- 4. 二次電池の取り扱いについて
●お客様は時計から二次電池を取り出さないで下さい。
●やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止の為、幼児の手の届かないところに保管して下さい。
●二次電池を万一反り飲み込んだ場合には、直ぐに医師と相談して治療を受けて下さい。

⑩懐中時計について



- 【表蓋の開閉方法】
① リューズ中心のボタンを押す。
② 蓋が開きます。 ※バネ式になっているので開いたままになります。 ※蓋が自然に開いている角度以上には、蓋を広げないようにご注意ください。
③ フックが付いていますので「カチン」と音がするまで、強めにしめて下さい。
- 【時刻合わせ】
(A)位置 (B)通常位置
① 秒針が停止するようにリューズを引いて(A)位置に合わせます。(ストップ)
② リューズを戻して時刻合わせをします。
③ 時報などに合わせてリューズを通常位置(B)に戻します。(スタート)